

【事業者名称】社会福祉法人 華頂会 グループホームせいか 平成 22年 3月 日評価実施

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ご利用者の個々に持つ力を見出し、その人らしく暮らすことが出来、且つ、ご利用者、職員共に地域の一員として過ごす事が出来る様、独自の理念に沿って支援している。	○	今後も地域との交流を大切にし地域の方々に理解していただけるように取り組んでいきたい。
2	2	<input type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	常に理念を念頭に、実践に向けての取り組みをしている。		
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	目につく場所に理念を掲示し理解いただけるように取り組んでいる。	○	2ヶ月に1回、ホーム便をポスティング。グループホームでの出来事を報告し、グループホームを理解協力して頂けるように工夫している。
理念と共有 3項目中 項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣近所の方々と気軽に声掛け出来るようになり、防火訓練なども協力して頂き、グループホーム内の行事にも参加していただけるようになってきている。	○	上記同様、2ヶ月に1回、ホーム便に日々の出来事を記載しお気軽にお立ち寄り頂けるように取り組んでいる。
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会より回覧が回り地域活動に参加したり、行事の参加の声掛けしたり、地元の方々との交流の機会を作っている。		
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	運営推進会の際、高齢者の方々のお役に立てる事があればと、声掛けし取り組みをしている。		
地域とのつきあい 3項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価や、外部評価にて日々の介護サービスが適切であるかを振り返り、今後のサービスの改善、向上に努めている。		
8	5	<input type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に一回運営推進会議を開催し。出来事など報告し、ご意見を伺ったり、サービス向上に取り組んでいる。		
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	疑問に思うことがあれば相談しご意見を頂いて居る。		
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	現在、対象者はないが、機会があれば参加し必要時、活用出来るように心がけているが、	○	今後も機会があれば参加して活用出来る様に心がけていきたい。
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	現在虐待はないが、虐待防止関連の研修に参加し見過ごしのないよう、常に注意を払い意識つけをしている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	見学時に説明をし不安や疑問点などの再確認をし、ご理解、納得して頂けるように努めている。		
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情ボックスを玄関に設置したり、重要説明書に明記し、外部への苦情窓口があることも説明している。		
14	7	<input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	1回/月、暮らしぶりや健康状態、金銭内容を手紙にて報告し、状態変動時や職員の異動があれば随時、文章や口頭で報告している。	○	管理者、職員全員の連携で、正しい報告が出来、ご家族が安心出来るように取り組みを強化していく。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情箱を設置しているが、苦情は中々表せにくいと考え、訪問時に会話したり、相談員訪問日を毎月連絡しせる機会を工夫している。	○	家族との信頼関係を図る為、行事への参加や会話の機会を出来るだけ作り、苦情や不満が言える雰囲気を作りたい。
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	1回/月カンファレンスを行い意見交換している。且つ、日々気づきがあれば意見の提案をするようにし運営に反映できるように取り組みをしている。		
17		<input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	受診時、外出時、行事の際には、話合って職員の確保をし柔軟に対応出来る様に努めている。		
18	9	<input type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	異動時には、早々に家人に報告し、新しい職員の場合には、馴染みの職員と一緒に関わり、ご利用者の不安の軽減に努めている。		
理念を实践するための体制 7項目中 項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修案内を、全員に回覧で回し、出来るだけ参加するように促している。且つ、研修を受けた後		
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同業者、勉強会等の交流の機会には出来るだけ参加するようにしている。地域の同業者とはお互いに情報交換している。	○	同業者、勉強会等の交流の機会には出来るだけ参加し、ネットワーク拡大をし、サービスの質の向上を心掛けていきたい。
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	相談があれば、随時話を聞き、一緒に解決策を検討したりし、ストレスを貯めないように取り組みしている。		
22		<input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	希望する研修などの参加、資格修得などの意義を理解し常に向上心を持って働けるように努めている。		
人材の育成と支援 4項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
II-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	困っておられる事、求めておられる事を傾聴し一つ一つ受け止められるように、ゆっくり時間を取るようにしている。		
24		<input type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談時、困っておられる事や不安な事、求めておられる事を傾聴し受け止められるように努力している。		
25		<input type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族を含め管理者、ケアマネージャー看護師、職員が同席し必要とされている事を見極め対応するように努めている。		
26	12	<input type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	雰囲気慣れていただくように、入所前への訪問や、体験をして頂く様に助言している。		
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 項目					
II-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	カラオケ、人形作りやぬり絵など一緒に過ごす時間を持ち、得意とする事を盛り立てて、共に学び支えあう関係を築ける様に工夫している。		
28		<input type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	頻りに訪問されるご家族とはゆっくり話し、喜怒哀楽を共にする事ができるが、中々訪ねて来られないご家族との喜怒哀楽を共にする事は中々難しいのが現状であるが、来所時には殆どのご家族との会話が出来、一緒に支えていく関係作りは、以前より良い方向に向かっていると		
29		<input type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	来所時には日々の状況を報告し、ご本人やご家族が求めておられる事があれば話を聞き、より良い関係が築けるように心がけている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	訪問時は、居室にてお茶を飲みながらゆっくり過ごして頂く様に配慮し、時間が許されれば、リビングにて他者と一緒に過ごせる様に配慮し、関係が途切れないように配慮している。		
31		<input type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	1人1人の関係を把握した上で日々の関わりや家庭的な雰囲気作りを重視しながら関わっている。		
32		<input type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	一人一人の誇りやプライバシーに配慮し、言葉掛け、コミュニケーションを図りながら、無理のない生活が送れるように支援している。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりや家人との連携で、一人一人の思いや意向を見出せるように努め、出来る限り、ご本人の思いに近づいているか確認しながら支援している。		
34		<input type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	部屋には、馴染みの物があり、居室やリビングで穏やかに過ごされている。この生活に馴染んでおられる様子が伺えるが経過観察し、把握出来る様に努めている。		
35		<input type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	関わりの中で一人一人の過ごし方、心身状態の確認をし、把握出来るように申し送りを密にしている。		
一人ひとりの把握 3項目中 項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	ご本人を含め、ご家族、主治医、ケアマネ、職員、管理者、地域包括の方々の意見を参考に介護計画を作成している。		
37	16	<input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	期間内に見直しするようにしているが、変化が生じた場合には、主治医、家族、職員との話し合いの機会を持ち見直しをする事としている。		
38		<input type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個々の経過記録に記録し、申し送りを密にし情報を共有しながら介護計画に活かせるように努めている。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人の研修、イベントに参加したり医療連携を活かした医療処置、身体の現状維持を図る為、定期受診やリハビリが継続出来る様に努めている。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	防火訓練時消防署からの協力、民生員さんと自治会長さんの運営推進会参加、ボランティアによるイベントなど協力を得ながら支援している。		
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	他の事業所、他のケアマネジャーの交流し、必要時には協力を得られるようにしている。		
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	地域包括支援センターより運営推進会に参加して頂き、ケアマネジメントについて協働出来るように取り組んでいる	○	権利擁護やケアマネジメントも以前より相談しているが、更なる協働が出来る様にしていきたい。
43	18	<input type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご家族やご本人の希望のかかりつけ医に定期受診が出来る様に取り組んでいる。且つ、緊急時など適切な医療が受けられるように話し合いもしている。尚、1回/月(変化時も)家族に状況報告している。		
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	主治医に常に相談し、治療、が受けられるように支援している。		
45		<input type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護師が勤務しており、ご利用者、職員と共に良く知り得ている。気軽に相談、支援している。		
46		<input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時、状態を聞き、退院の予定などの相談、情報交換をしている。看護師と入院先の病院が連携をとれるようにしている。		
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や急変時の場合について話し合いをしている。緊急時の搬送先の希望なども話し合いが出来ている。		

自己 評価 項目	外部 評価 項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り 組んでい きたい項 目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	状態の変化時には、主治医に出来る事出来ない事の相談をし、チームとしての支援に取り組んでいる。この後の変化時に備えても、家人や主治医との話し合いもしている。		
49		<input type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	現在の所、別の居所へ移り住むと言う要望はないが、今後要望があれば、関係者間で十分な話し合いや情報交換にてダメージを防ぐように努めていく。		
地域資源との協働 10項目中 項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	一人一人の誇りやプライバシーに配慮し言葉掛け、コミュニケーションに対応している。記録の中ではイニシャルを用い個人情報の取り扱いに注意をしている。		
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	一人一人の個性を理解した上で、一人一人とコミュニケーションを図りながら無理のない生活が送れるように支援している。		
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	見守り、コミュニケーションを図りながら一人一人のペースを大切にしている。意思表示が困難な方には、見守りコミュニケーションを図り、こちらから促しをしている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	本人と季節にあった衣類の選択や、外出時本人の希望または言葉掛けを行い化粧をしたりされている。理美容は希望時に来所して頂いている。		
54	22	<input type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材を切ったり、洗い物をしたり、茶碗拭きなどを一緒に行う事で楽しい生活を過ごしている。		
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	現在では、お酒、煙草を望む方はおられない。おやつや飲み物は本人が望まれた時など一緒に買い物に出かけたりする。また糖尿病がある方は、工夫をしながら、みんなで楽しんで頂けるよう支援している。		
56		<input type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	自力でトイレに行かれる方には排泄後、言葉掛けを行い排泄の有無を確認。意思表示が困難な方には、言葉掛けをトイレ誘導し確認にて排泄パターンの把握に努めている。		
57	23	<input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴を好む利用者や拒否される利用者があり、タイミングに合わせて、ご本人の希望に沿えるように努めている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	時間の規制なく、利用者の思う時間に自由に過ごされている。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	塗り絵をしたり、人形作りをしったり、本を見る人、一人一人の楽しみをされるので、一緒にしたりし、気晴らしが出来る様に支援している。		
60		<input type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	家族から小口を預かり、個人個人の使い道を家族の了解を得て、使えるようにしている。		
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	状況にもよるが、希望があれば、出来るだけ一緒に出かけられるように努めている。	○	時間の余裕が出来、もっと出かけられる様に組みたい。
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	1回/月、全員で外出、外食している。家人にも声掛けし一緒に行かれる事もある。且つ、個別に家人と利用者が共に外出したり外食される機会もある。		
63		<input type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	時間外(夜中)を除き、要望時、気軽に電話をして頂いている。		
64		<input type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	時間の規制なく、誰もが気軽に訪問出来る様に、ホーム便に記載したり、声掛けしたりしている。来所時は、お茶を出しゆっくりして頂いている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は過去になし。契約時も説明をし安心して頂けるように取り組んでいる。	○	介護保険法基準を正しく理解し、今後心身共に拘束がないように取り組んで行く。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室は御本人の意志に任せている。日中は玄関の鍵をかけず、出入り口には、センサー設置にて、離設事故防止に努めている。		
67		<input type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に所在を確認し昼夜を通し、危険防止に努めている。		
68		<input type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の状態に応じて取り組みをしている。		
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	日々事故防止に細心の注意をしている。避難訓練も実施している。		
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	緊急時の連絡先や手順を目につく場所(電話の前)に貼っている。	○	事故発生時に備え全ての職員が対応に困らないように訓練や話し合いをし、対応出来るように取り組みをしたい。
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防署や近隣の方の協力を得て、2回/年、避難訓練を実施している。転倒や離設による事故防止には細心の注意を払うように努めている。		
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	契約時に説明させて頂いているが、更に危険性の高い状況の場合には、訪問時に状況説明をしている。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日バイタル測定、日々の生活内で、観猿をし、異変時には、家人や医師、看護師に相談している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	医師の指示に従い、職員全員が理解できるように、所定の場所に説明書を置き、全員が薬の目的、用法、容量が理解できるように工夫している。	○	常に状態の把握をし、異変の早期発見、適切な対応に努めていきたい。
75		<input type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	医師の指示に従い、服薬介助をしているが、水分補給や身体を動かし自然排泄が出来るよう心がけている。		
76		<input type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の嗽を促し、就寝時は義歯のつけ置き洗浄をし、口腔内の清潔に努めている。		
77	28	<input type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、水分量を観察し記録している。栄養のバランスは、栄養士のメニューで食事の提供をしているが食事量が不足の場合には、他の物で補給したり工夫している。		
78		<input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	手洗い、手指消毒、施設内の消毒(塩素系での拭き掃除)をし出かけるときはマスクをしたり、感染予防の徹底を図るよう努めている。		
79		<input type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	手洗い励行。ふきんやまな板は毎日、夕食後ハイターにつけ消毒している。食材は必要分購入し新鮮な材料を使うようにしている。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関は鍵をかけず、花を置いたり、出入り口には写真を貼り、親しみやすい環境づくりを心掛けている。		
81	29	<input type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	人間関係を構築し、席替えをしたり、室温の調整や快適な空間、手作りの花や人形、塗り絵の額などを飾り、生活感を取り入れて居心地よく過ごして頂けるように工夫している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ご利用者の思い思いに過ごされている。居室で独りで過ごしたり、リビングで利用者同士で過ごしたり、他者の利用者の居室と一緒に過ごしたり、自由に過ごしておられる。		
83	30	<input type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室のレイアウトやタンスなどの置物はご家族やご本人の好みにして頂き、居心地良く過ごして頂けるようにしている。		
84		<input type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気の上よみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	窓を開けて換気したり、空調にて外気温との大きな差がないように配慮している。匂いに関しては、原因の追及、除去に努めている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下、階段に手すりを設置し、見守り、声かけしながら、身体機能を活かせるよう出来るだけ自力で移動して頂き自立した生活が継続できるように工夫している。		
86		<input type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	花の水やり、裁縫、塗り絵など個々に応じ出来る事をして頂き、自立出来るように工夫している。		
87		<input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	小さいが屋外で畑、ベランダでは花作り、スタッフと一緒に水をやったり、ねぎを摘んだり楽しんでいる。お天気の良い日には、ベランダで食事を楽しんだりしている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない
	項 目	取 り 組 み の 成 果 14 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)

		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

利用者様本位を目標とし、明るく家庭的な雰囲気の中で、利用者様が落ちついて生活できるよう、スタッフ一同、一丸となり取り組んでおります。趣味の塗り絵や人形作りを一緒にし、カラオケで歌ったり、行きたい所へは出来るだけ出かけ、ベランダで食事したり、ゆっくり話をしたり利用者様、職員共にゆったりとした時間を過ごす事ができています。且つ、日々の健康管理にて異変の早期発見、家族や医療との連携に努めています

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input checked="" type="checkbox"/> 理念と共有	0 項目/3項目
－2. <input checked="" type="checkbox"/> 地域との支え合い	0 項目/3項目
－3. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	0 項目/5項目
－4. <input checked="" type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	0 項目/7項目
－5. <input checked="" type="checkbox"/> 人材の育成と支援	0 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0 項目/4項目
－2. <input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	0 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	0 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	0 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	0 項目/1項目
－4. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	0 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	0 項目/3項目
－1. (2) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (3) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (4) <input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	0 項目/8項目
－1. (5) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	0 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	0 項目/5項目
－2. (2) <input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	0 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営（ 項目／5項目）について

玄関や目につく場所に理念を掲示し、訪問者の方々にも浸透できるように工夫している。職員全体も申し送り時や日々理念に沿ったケアが出来ているかの確認をし入居者の方が、地域に馴染み、その人らしい生活が送れるよう日々念頭入れ取り組んでいる。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援（ 項目／2項目）について

良き話相手となりホッとするような居場所作り、定期的に受診、家人に相談報告をし心身共に安心できる生活を心がけています。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント（ 項目／4項目）について

日々の関わりの中で、会話、趣味等、個々の生活のあり方を理解しその人の持つ力を活かしながら、その人らしく過ごせる様に、家人やスタッフみんなの意見を取り入れ、状況に応じたケアプラン作成に努めている。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援（ 項目／7項目）について

利用者様本意にし、自室で過ごしたり、リビングで過ごしたりされるが、ご自分で意思表示が出来ない方には日々の関わりの中で、出来る事を見出して声掛けし、一緒にして楽しみを見つけ、その人らしい生活を送れるように支援しています。

V サービスの成果に関する項目について

当施設は6月で2年を迎えます。利用者の方々全員、お変わりなく、穏やかに過ごされています。ご家族の協力、スタッフの個々に応じた対応にて利用者様の表情にも安心感がみられ、時には甘えて怒ったり、一緒に笑ったり、家庭的な雰囲気があり、職員一同、喜んでおります。今後もゆっくり関わりながら、安心出来る生活、一緒に笑える生活を継続出来る様に勉強会参加や、話し合う機会を持ちサービスの向上に努めていきたいと思っております。

★サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

事業者名称 グループホーム せいか

評価年月日：平成 22年 4月 7日

前回評価年月日：平成 21年 5月 19日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的 な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
1	1	今後も全員が常に独自の理念を念頭にサービスの質の向上に向けて取り組みをしていきたい。	H22年4月～ H23年3月	目につく場所に貼り、常に念頭において行動するようにしている。	徐々に近隣の方の行事参加や、自治会の行事に参加したり、地域の一員としてその人らしい生活が出来てきている。	H23年3月
II	2	ご家族、ご本人や近隣者、関係者の声を聞き、安心と信頼に向けた関係作りに努めたい。	H22年4月～ H23年3月	毎月、身体状況や行事、金銭管理のなど報告をし信頼に向けて	写真入りの手紙で様子がわかりやすく嬉しいと電話を頂いたり信頼関係に結びついて来て居る。	H23年3月
IV	3	その人らしい暮らしを続けていける様にマネジメントし日々の支援を強化していきたい。	H22年4月～ H23年3月	日常生活上、出来る事は一緒にし会話や関わりの中で学んだり支え合う関係づくりを取り組んでいる。	塗り絵や人形作り、カラオケしたり、	H23年3月
		日々行うサービスの質を振り返り、適切であるかどうかを常に確認し、話合いの機会を持ちサービスの質の向上を図りたい。	H22年4月～ H23年3月	自己評価、外部評価の実施にてサービスの質を振り返り、サービスの質の向上を図る。	気づきや反省があり、今後のサービスの質の向上につながっていると	